中２自立活動指導略案

１　教科・単元　　自立活動「点字の読み書き」

２　日時　　令和６年９月17日（火）　６時間目（14：25～15：15）

３　場所　　中学部１年教室（３階）

４　生徒　　中２男子１名

５　指導者　　磯村　浩二

６　ねらい　　①点字の読速度の向上をめざす。②パーキンスの書き速度の向上を  
めざす。③点字板の基本操作に慣れる。

７　生徒の実態　　１年生１１月ごろから点字の読みの導入を開始。課題を地道にこなしな  
がらほとんどの文字・記号を習得し、現在は読速度の向上をめざしている。パーキンスは今年度から取り組み始め、週１のペースで書く練習を行っている。点字板は夏休みから取り組み始め、基本的な操作を練習している。

８　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 | 備考 |
| 14:25 | 繰り返し読みの測定（３回目）：先週渡された１ページ３５０字程度の文章を読む。 | 読み終えたらすぐに結果を知らせる。 | 宿題の成果 |
| 14:30 | 繰り返し読みの測定（初見）：１ページ３５０字程度の初めての文章を読む。 | 間違いやつまずきはすぐにフォローし、先を促す。 | めざせ新記録 |
| 14:35 | パーキンスによる五十音練習：一定の速度で正しく書く。  単語練習：しりとりをしながら文字を書く練習をする。  作文：自分で考えながら最近のできごとや自分の考えを書く。 | 五十音はリズムよく、単語は自然に手が動くように、作文は考えることと書くことを両立しながら練習する。 | 手や指を慣らす時間 |
| 14:50 | 点字板によるめ書き練習：１の点から６の点まで順番に点筆を動かす。  五十音の練習：ゆっくり落ち着いてア行、カ行と書き進める。 | め書きは１・２・３のリズムを重視し、五十音は力まずに点筆を動かす。 | 紙や定規の扱い方 |
| 15:10 | 繰り返し読みの測定（２回目）：書見と同じ文章を読む。 | フォローの回数を書見より減らす。 | 記録の確認 |